

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県気仙沼市立気仙沼中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒988-0073
宮城県気仙沼市笹が陣4-1
 E-mail : kesenuma-jh@blue.ocn.ne.jp
 Website : _____
 児童生徒数：男子 133名 女子 134名 合計 267
 名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

- (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。
 ※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1 総合的な学習の時間

東日本大震災で甚大な被害を受けた気仙沼の復興に向けて、「10年後の気仙沼」をイメージさせ、それに向けて自分たち中学生ができることは何かを考えさせる。また、「防災教育」を柱として段階的に第1学年「自助」、第2学年「共助」、第3学年「公助」について学び、災害発生時に対応する力を養う。

第1学年 防災について考えよう【自助】

- ・[防災講話・調査活動] 有識者からの講話、自然災害についての調査活動等を通して、防災知識を身に付け、適切な判断力と実践力を養わせた。

第2学年 防災について考えよう【共助】

- ・[仙台施設訪問学習] さまざまな施設の防災に対する調査活動や施設での見学、講話の聴取等を通して、主体的な調べ学習を展開させる姿勢を育むとともに、防災への意識を高めた。
- ・[復興フォトプロジェクト] 復興をテーマにした地域の写真を撮ることによって、地元の復興への意欲を高めさせ、今自分たちができることを考え、実行させた。

第3学年 10年後の気仙沼を考えよう【公助】

- ・[企業訪問] 東京での企業訪問を通して、他地域の防災システムや街づくりを知り、気仙沼市の役立てようとする意識を高めた。
- ・[10年後の気仙沼について話し合う] 3年間で学んできたことを活用し、10年後の気仙沼について考え、復興の担い手としての意識を高めた。

2 避難訓練の見直し

地震と津波発生を想定し二次避難場所までの避難訓練を実施した。また、夏季休業中、部活動の時間における避難訓練や、休み時間のショート避難訓練、小学生や地域住民と合同の火災避難訓練を実施した。

3 生徒会が主体となつての復興プログラムの実践

地域の復興に関わり、学校から元気と笑顔を発信することを目的に、生徒会執行部が主体となり、「今、自分たちにできること」を考え、各委員会が役割を分担しながら復興プログラム「アクションプラン」を実践した。本年度、宮城県代表として全国生徒会サミットに参加した。

代議員 …仮設住宅周辺の草取り
生活委員・整備委員…仮設住宅周辺のゴミ拾い
(全校生徒に参加を募集し、多くの生徒が参加した)
福祉委員…仮設住宅集会所での読み聞かせ
新聞委員…仮設住宅の方々向けの新聞を作成

4 支援していただいた方との交流

今年度も多くの方から支援が数多く寄せられている。お礼のメッセージカードを作るなど、感謝の気持ちを表した。

